

## モニターレポート(3月報告)

### 【報告内容①】

新潟に大地震で津波があったら、下山付近は津波にのまれるなあと思いました。阿賀野川はどうなるのかなあと思います。ちなみに、阿賀野川の土手の高さはどのくらいなのでしょう？

### 〈事務所からのコメント〉

ご質問にありました下山付近の堤防の高さですが、地盤から約4mの高さがあります。

昭和39年6月16日の新潟地震の時では実績津波高は阿賀野川河口部(0.0k地点)でT.P.2.81mの痕跡がありました。また、津波と地下水による浸水被害は「図-4.3.3」のような被害があったと記録されています。

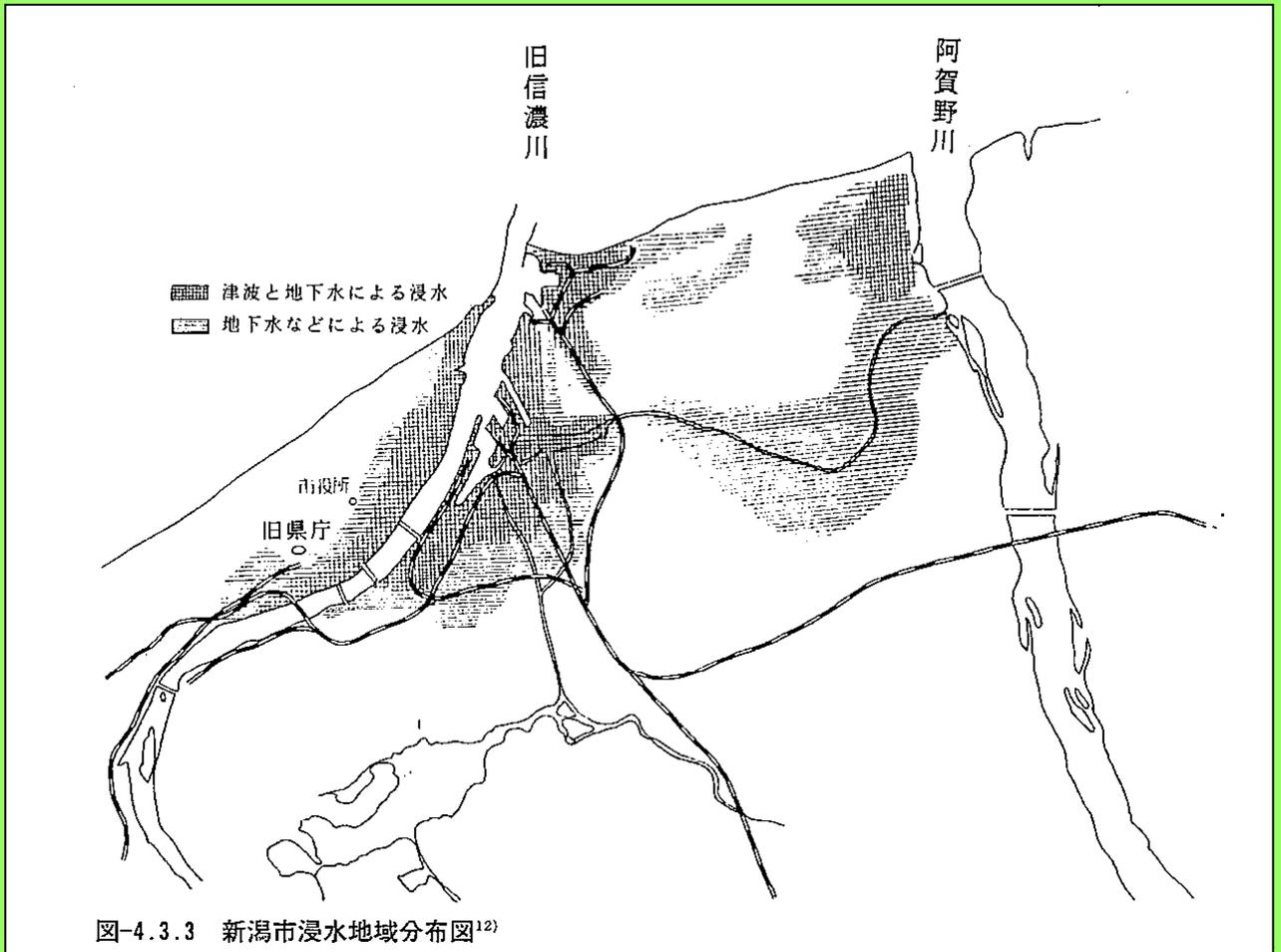
一般的に河川の堤防は土でできており、地震の際には振動や地盤の液状化等により亀裂や沈下等の被災を受ける可能性があります。阿賀野川では、堤防下の地盤が砂層で構成されているため、地震が起きると砂層が液状化し、堤防が沈下あるいは亀裂が入ったりし、河川から氾濫する恐れがあります。

この沈下・亀裂を防止する目的で、現在地盤改良(耐震対策)を進めています。

実際に、いつどの程度の地震がおこるかはわかりません。今回の地震による津波は、阿賀野川での想定をはるかに超えたものであったことから、現在想定されている津波の妥当性検討を含め今後の対応について考えていく必要があると思われま

※複数のモニター報告を抜粋・要約してあります。

「図-4.3.3」



(平成6年 新潟地震と防災技術 新潟地震30年事業実行委員会 学術技術誌編集委員会より)。

※複数のモニター報告を抜粋・要約してあります。

## 【報告内容②】

雪捨て場は4月30日までに撤去とのお話でしたが、3月27日現在では、量はかなり減ってはいるものの、未だ茶色の土を被った雪が残っていることに驚かされました。周りに重機も置かれ作業の途中にあるのですが、これが完全に消えると本当に春になると思いました。

### 〈事務所からのコメント〉

雪捨て場のことについてご指摘がありました。東区一日市の泰平橋下流の左岸の雪捨て場は、早く雪が融けるように、雪を重機で動かしています。真っ黒くて雪とは思えないですが、重機で動かすことにより早く雪が消えると思います。

## 【報告内容③】

3月18日(金):河口中州にユンボあり。増水した時どうなるのだろうか。あそこまで行ける程度の水深なのかなと思いました。

### 〈事務所からのコメント〉

18日にご覧になられた中州の重機の件ですが、砂利採取の現場と思われませんが、作業にあたっては天候や河川水位の情報収集を行いながら、安全面には十分注意する様、指導して実施しております。

※複数のモニター報告を抜粋・要約してあります。